



カフェCOZY



「Zakkaみち草」には、長崎県産材を使った木工小物や地元作家の手によるアクセサリー、素材にこだわった靴下などが並ぶ。それぞれに作り手の思いが伝わってくるものばかりで、見ているだけで心が弾む。自分へのお土産に、暮らしを豊かにしてくれる雑貨を選ぶのもいい。

赤い扉が目印の「Amélie」はフランスのレストランで働いた経験のあるオーナーが「もっと気軽にフランス料理を楽しんでほしい」と開いたガレットとクレープのお店。地元で幻と呼ばれる「高来そば」のそば粉や島原産の全粒粉、フランス産の塩などを使用して作るガレットやクレープはこちらでしか味わえない贅沢な美味しさ。木の温もりを感じる建物と赤いチェックのテーブルクロスがどこかフランスの田舎を思わせる。

風の森のある場所は、かつてミカンの木が植わっていた荒地だったという。開墾して新たに木を植えることで、この美しい森は生まれた。柔らかな木漏れ日が差し込む森の中を散策するひとときは、心を穏やかにしてくれる。

風の森

降り注ぐ
木漏れ日の中を
ぶらり散策

諫早市街地から車で約二十五分、森山町にある「風の森」を訪れた。橘湾を見下ろす小高い丘には、緑豊かな森が広がり、カフェや雑貨店が点在している。

中でもひととき洗練された外觀が印象的な「カフェCOZY」でランチをいただいた。おすすめめの「ませませごはんプレート」には、赤シソ風味のませごはんにまん丸のコロッケと、たっぷりのサラダ、二種のデリがプレートに彩りよく配されている。こちらの名物である自家製ソースをかけたコロッケは、ホクホクでクリーミー。一品一品が体に優しい味わいで、大満足のワンプレートだ。天気の良い日はテラス席でゆっくり過ごすのも気持ち良さそう。

Amélie



Zakka みち草

